

新たな多文化共生の地域づくりウェビナー 開催要領



OIHF HP QR

1 趣旨：

新型コロナウイルスや世界的な気候変動、燃料・食料価格の高騰や、2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻など今日の我々の社会は、情勢が目まぐるしく変化し予測が難しく複雑な時代（VUCA：ブーカ）にあると言えます。

「VUCA（ブーカ）」とは「Volatility（変動性）」「Uncertainty（不確実性）」「Complexity（複雑性）」「Ambiguity（曖昧性）」の頭文字をとった、先行きが不透明で混乱する社会の状況を示すことばで、最近ではビジネスの領域でも用いられるようになりました。

本ウェビナーは、「VUCA の時代において多文化共生社会を実現するためには」をテーマに、これまでの出来事や施策を振り返り、VUCA の時代に求められる取り組みについて考える機会を持ちます。

2 実施日時/ 実施場所：2022年9月13日（火）14:00~16:00/ ZOOM

3 対象者：

対象者は県内に在住する次の方とします。

- (1) 住民サービスや国際交流施策等に携わる自治体職員
- (2) 外国人を受入れている企業や学校関係者
- (3) 趣旨に賛同する一般の方

4 募集定員/受講料：30名程度/ 無料

5 募集期間：2022年7月25日（月）～ 8月28日（日）

- (1) 申込みは財団 HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>)または QR コードから行うことができます。
- (2) 参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ます。予めご了承下さい。

6 講師：（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏

阪神・淡路大震災で被災した外国人への支援活動を機に「多文化共生センター」を設立。2007年に「（一財）ダイバーシティ研究所」を設立し、人の多様性に配慮のある地域づくりに広く取り組んでいる。総務省が2020年9月に発表した「地域における多文化共生プラン（改訂）」の策定に携わるなど、長年に渡り地域における多文化共生の推進に関わる。明治大学大学院兼任講師、復興庁復興推進参与（非常勤）。

7 個人情報の使用に関する同意のお願い：

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、ウェブサイトやパンフレット、ポスター等の広報媒体において、事業に関する広報活動を広く行っています。事業内容を沖縄県民や関係機関にできるだけ具体的に表現するため、参加する皆様の肖像（写真や動画など）を広報媒体に掲載させていただくことが非常に有効な手段であると考えております。皆様の肖像につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

8 お問い合わせ：

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛（かつら）・梅島（うめしま）

住所：沖縄県宜野湾市伊佐 4 丁目 2 番 16 号

電話：098-942-9215 E-mail: kokusai@oihf.or.jp HP: <https://kokusai@oihf.or.jp>